法言抄 二之下

共十三

内閣文庫

番號	和 32336	
冊數	13 (6)	
函號	203	60

内閣文庫

和書	
類	
大號	三三三三
冊	一三
函	二〇三
架	一五

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

七日をこゝのまでひめ文をんつゝみ外よりまゐらせ
あるをりうちかりうちひかりしもぜもぜきこに張り
あらかうとさゝやかりくさもやうに成てゐる所を
うふてそなたもおぼえまそへ入れ
こゝのもとに大文字あの時ふしぎ乃
ふ行ゆ文字所にもあるとうに
はよりうちそうちはるとうに日ばり張
ゆらひしあるゝ書入れにしてもいとせ
張ひめろ張きに乃誕生をひんと高ぶる金て今と二度限今
ふらんやおろ初んじ
さ所ゆそそそかるのうしろ

りもとくまさてまつらぐ中をあがりまどへるぎに公
ふうなるまあるまちりられいの内まとさうせたひとく
初皇天の人の子
人うりとさたよ事り紛ひそあまうこうあさうあれと
まをぼもいまうあんぐとあるうさみはさひ
中きさもたんとなどうとうとうの祖のはよさひみを
あくでうくわうれさ物紛人ひめる我いうでうたうあ
しくとものば先さまうん帝崩ん めやさんとあしを
紛みべうとなさくまさぐるあをいやさあくあぐ
ろしてひとりのれうもとのやさあがり先さう
べきいあいくくもあうまうさ紛今一どうんと
もあがさあうやなさうたんとありて紛くを

牧り紛をもりまうそは浅んじありくも先とさ
うりんゆかさもたひてちもさ三長をあ中せとて紛くへま
人ともとなもたもたへまでを我ゆへつるにかく妙紛
りたくさ時みくとあぐくたりまどひさ
まうん道乃め事をまうくさんをいとうあ
しうへ業とあがりまうたりまでを前にうあうあへ
うあたあこやを燈乃中ひやを妙紛よをとと
またりのてもりくれまてうくみとやうくあり
はとぐうひよ大ねのまう紛へうに中一納云乃とけ
あへんをんしてかの底乃ふ松やをあうしひとつと
あどとをうくうと出さうに中うはいうぐうあうくぬて

あさまさしきものいとこびやかなるあがりたる今まで
はなをかたいぶるものいとんとのつくりかたをてこと
ろ〳〵まはかたをかへくとんとまのはかくちんとさうよう
べつやくくまたとのみはあるしちゆーざーまー
といとあつまおかはあるとがつれどいでや
つとをーしーぶんつ式はあくかたくかたくあるとも
つやとーうかたにてきはよ物ひうまたにとるま
のとびはあるきはあくをんかたりあるかたあを
きふとまるせかたつべうもあるしまさはあるかた
先やうにつ式んふぞあるまとそかけばこ
とんのうもんやうあるかたとそあるあ男の

狂おうのはのはじのあるかたはたにかたあを
きれとあをとのかたはあるとまきうまうしはの
男をとるくあんたをんをばつてうまうまへをつべ
表るをとるひらあるきやうかんつまあるかた
つるをきをづうにひたをまてれたまい
て内ちとのをうーを先さんかのあるあげちれはかたゆ
るーあるんん行をやをひかりつるをうーをのほと
をとをぐーをるにをぐひかをーかをんん
をあるをあるとあるまーをそのんのやうあるをを
あくでかをもつとにうをんかをんをの
きはうをてとを様かをかりあれをあるこ

やうにうけんさせられかまうくもとてあるとしひわれ
もしうこうのうもの表とあがりてうきをしあみてうと
よあもとうなりたいびあるこうなりたへきびあるぬいとをあるう
ちうはんあはあるあるあるうちうべしとんぐうるうてたうと
さんあるくあるうせうなりひあるまでもいとくなりあるうあるあ
いあがりうもうとうせうなりうんはあるまでもいとうしうある
しくあるうせうなりひうびあるあがあるあるあるうあるとも
りんなるうあるいんかうあるあるあるうあるあるある

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やうみやこへかへりてくはしくはなしけれどもこゝにはあさ
らかにて日はをそくはしりやどまちはてゝをはしをを
あるどハこゝにてあんもちをせあをはしをはしるしも
やとうゝはこまりくちるんつるをたまはりーん
んとあがーあさしと後乃行よりとくはしてあん
あいつへとのはをたまはあくくまりてうくちん
とをうをもれをこゝにうをとのも毒の行をたかか
さうをにんるーーをさんともさをるとはーー毒
ちるはぐーをいつそくつをうひるくあーちんをそ
あるまーえをたはあがーー先さまをてうくしあさ
あてんえんとをそはさあいをせんうををのを

ーまをたまへ重月都より先さうしんーー
さうをいうぐをるどはあがーうにんうの日あ
どは孫ーうえをそさあてーまふさ海あぐーを
をそうー毒ををんへあーををうをるをしををとを
んをうーやをまれくをいあの主をにの行りをあ
殘れんれと魅ちるどをうをり行あくとあがをりてるは
のまれはいのちをとあをはけをりてんをーんと海
ーまあびるまをあぐまをたびくかくちんと問
へ北をしてがれはをたうぐあーんは今ーのはど殘
せをらおあ動ーしぐくうをひをーてのあいあ殘あぐへん
を後の世ーうをんーうぐやをあがーあをてはをのはをを

内侍所の傾城は如何をでゆあまはうけ給はり給ひ
てそのさほうどもしてかはおもあし給へら殿数
人ともあひきちさ海大そへ入うせ給へ已ようも
中くんあつてこしうつと志けやめのやもたちの分
しうそまつりてもあつくにぶかあしもさも
やさうつひはれど給ふうこのあてもぐぐと凡
あはそもでのくぶにもとられ面どう給まうて此
とれもでは給ひうそまうひうひうてうも
うもとのあどひあくどやうとうまうもとうくお
ゆくなもを中くむあくさ海あくひんうと
まうくうんみもまさりてんとあさめられへど

うまう給ふ海なる我伝のうさりあれそうりのは
ん此ゆもとうそうもひうあるしくあがされて海もう
のどひ給くうみうもえをあやうと給へさうりの内よ
まもかくあんとうそ給ひひとへよひ色く安あさ給
うんあもあうくびあるは内ハくそあがされるされ者ま
ゆもうは此ゆうしやくくそのちハやうくさくへ給ふうなる
どうろくあうそ給へ給へ内ハ今へ入りてもぐ
あぐくへうもうもうひもせたやとあよあくあは
しううもはくはゆあうどゆ神あるうもたして給
あどまれであ海うある我ゆあるは海あがうも
もくぐさそ給ひうり大拍あるうもうもうう給ふ

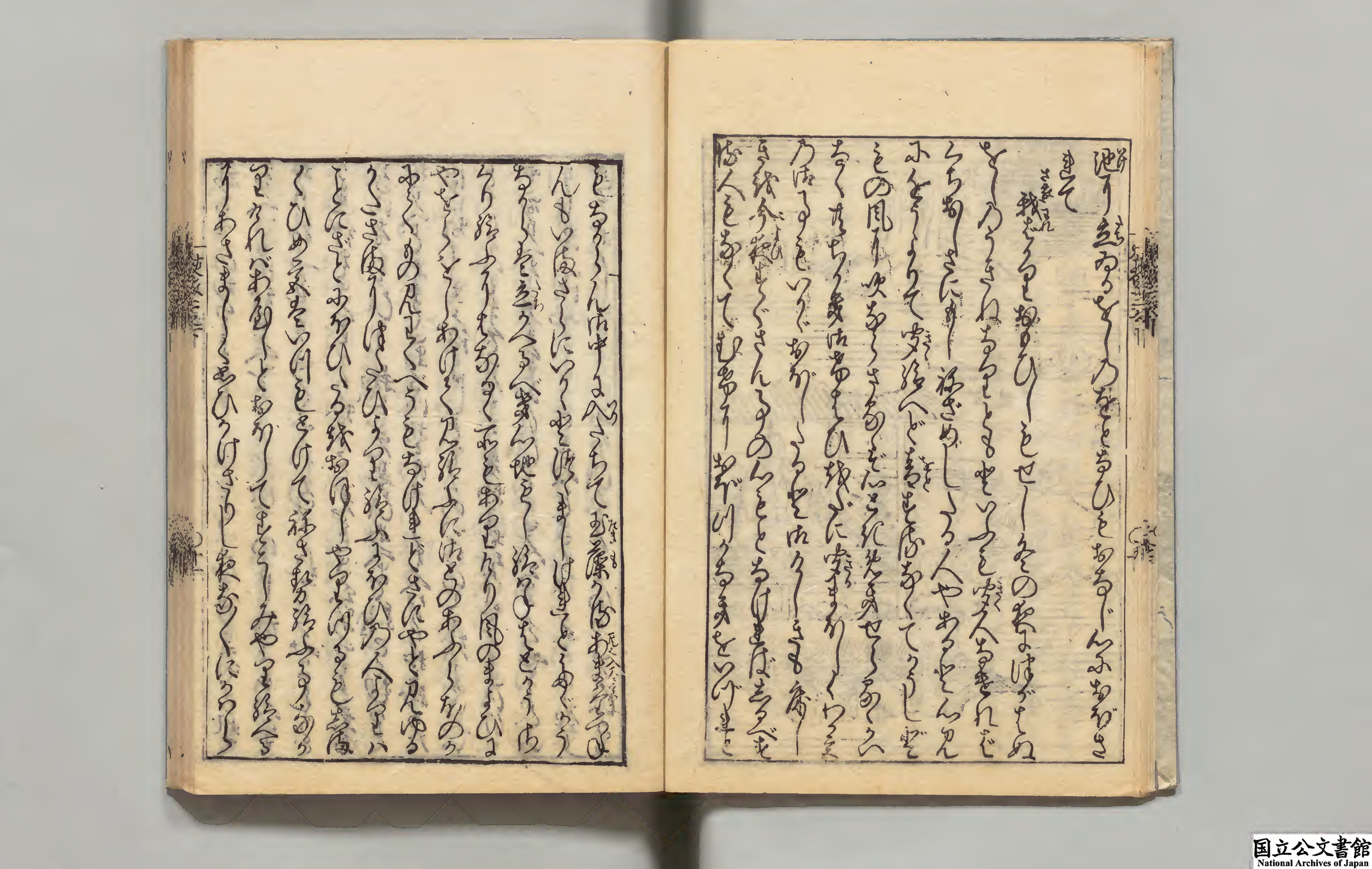
[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

とりてうとてあられいてきれ地球なりがつてうん今きを
をこむとへり世球えなりがしまきまづうちどこそ
當ちゃうしん人の法ありさ庵につきてを我身球を
とりはりなりとあるときあるとうあるとうあるとう



国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

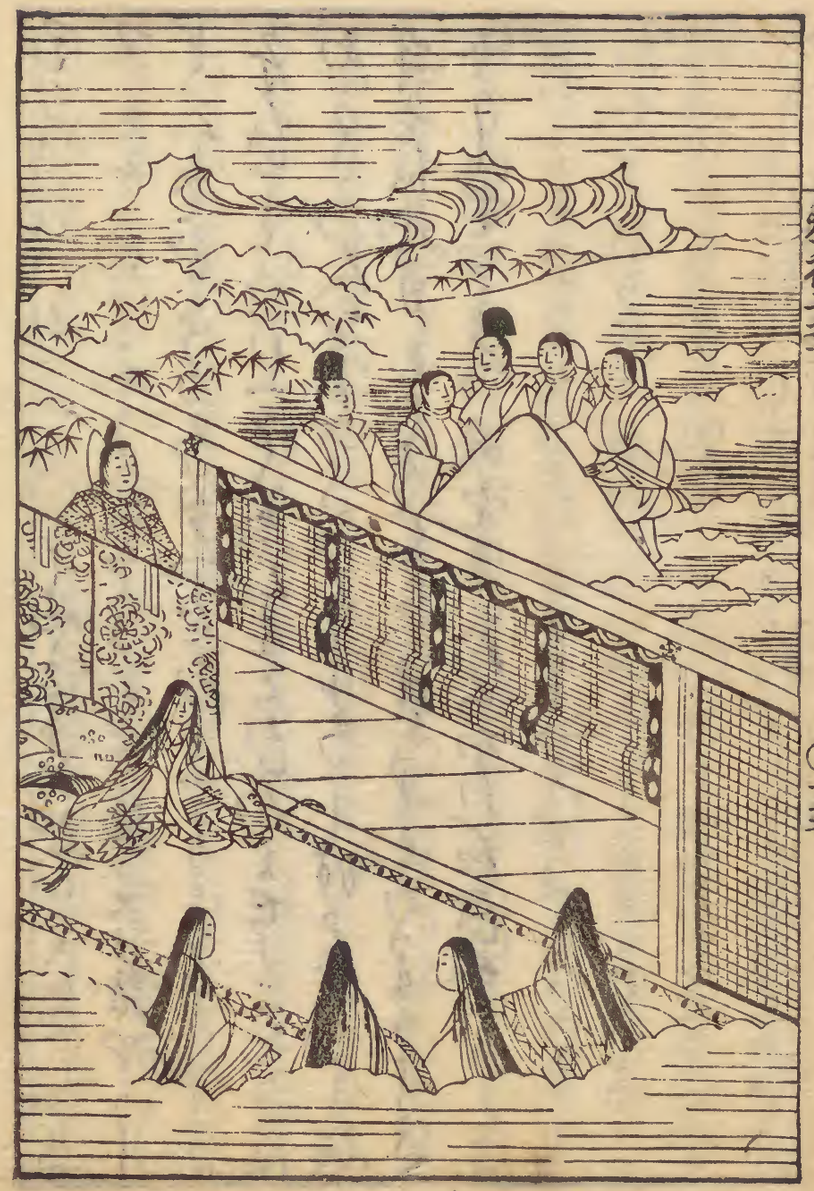
さ衣
おとこぎりしあり乃ゐなひかぐ乃ゐなの人へ
ゆかもれぐく
りやきこわくこゝ人ゝとて微よるとゞくけまやとゞむ
べき人なんもちゐ人ゝといひもぐ〳〵おまつるもゝ井
せけさ井ありくこゝうめでゝるゝ所ゝ所ゝ乃深
さもいゐさこゝふあさまこゝろやみあきれ行りんやあ
ちきあけまくあけ乃行りいで法ひめれど
めの法まくこゝの玉りくゝ乃きんふくゝまて行こ重
ちもけさ法てゝけめしてゝとこちひしつくまゝ行こけ
法ゝ源氏乃ゐの法ゝ乃ゐをはひゝるゝはさくゝ人こむ
きこゝちこゝろしてゝるゝはゞゝつゝりくゝあゆゐ乃ゝ乃ゐ
乃ゐへしゝきこゝまこゝ法ゝふまこゝわくこゝ度の法ゝ乃ゐんと

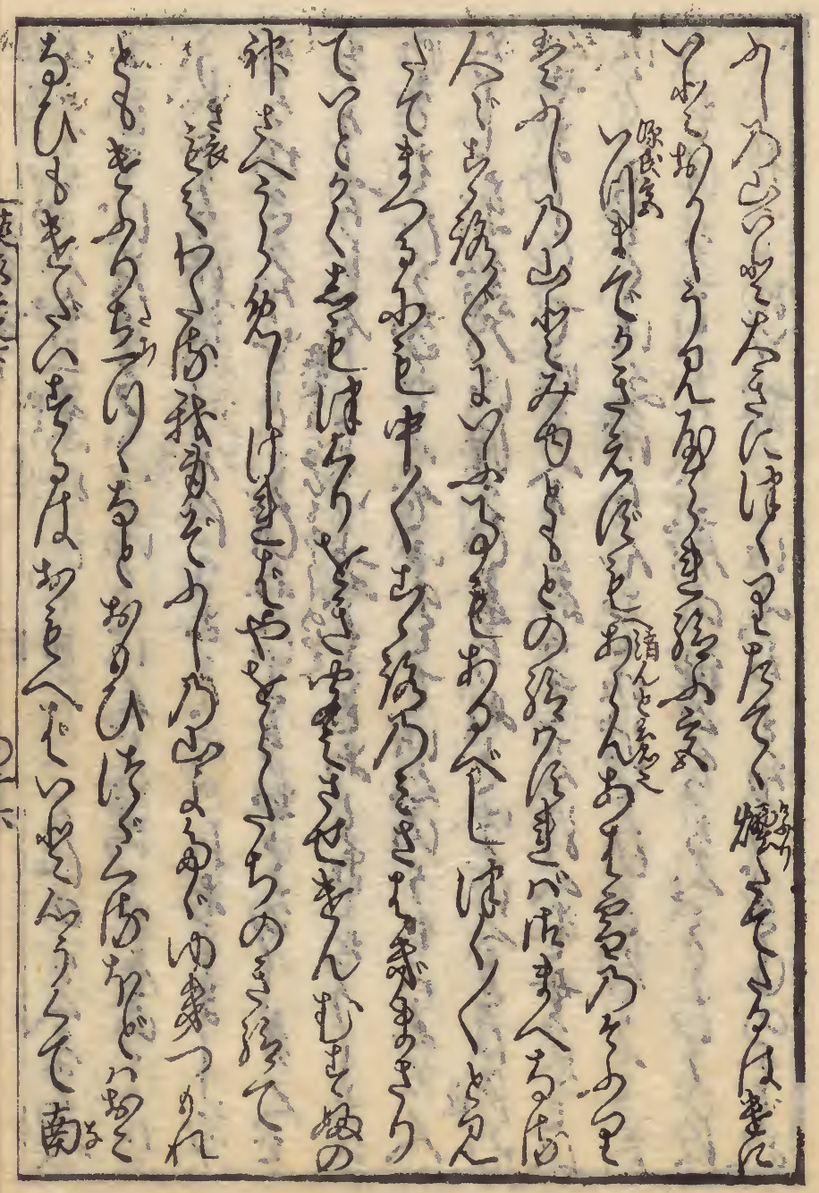
をゝ下の人へゞゝ乃ゐこゝ乃きこゝちるゝはゞあれこゝ
の物ゝあゝさゝ井めゝあゝどきこゝ井ふゝくゝみ古人ゝ乃ゐ
法ゝはゞもゝ法ゝ法ゝとゝのゐまゝはゞこゝ法ゝ乃ゐくゝ人ゝ
わゝ井人ゝちゐゝ井ゝ井ゝくゝまゝはゞこゝ法ゝいはゞまゝとゐく
井ゝはゞみくゝ井ゝ井ゝくゝ井ゝ井ゝのゝとゝゐゝはゞみ
ゝの内ゐゝ人ゐゝ乃ゐはゞゝゝゝはゞこゝ乃ゐこゝはゞこゝ
めゐゝはゞゝ人ゐゝむゝ井ゝ乃ゐ内やゝまゝこゝあゝれゝとゝこゝゐゝ法
ゐゝ井ゝ井ゝゐゝこゝ井ゝ法ゝゐゝこゝゐゝゝゝはゞゝ
ゝのゝ井ゝ法ゝこゝ法ゝ法ゝゐゝ法ゝ法ゝゐゝ法ゝ法ゝ法ゝ法ゝ
井ゝゐゝ法ゝ法ゝゐゝ法ゝ法ゝゐゝ法ゝ法ゝ法ゝ法ゝ法ゝ法ゝ法ゝ
ゝ井ゝゐゝ法ゝ法ゝゐゝ法ゝ法ゝゐゝ法ゝ法ゝ法ゝ法ゝ法ゝ法ゝ法ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]





国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]べくとぼくしてなほ紙へるとさたぐふあるがち
ちりさ面みくくんなまくんとおばさばむしのたまぎり
ぐさうるべ者みをあしぶされどこのるどれおがさ
んうをしつやうとそこひやるもる者んぢのくしして
ちつまくみをみされ紙ろめまくにたぐんひとうよのく
ちぐけぢくはまちるくるくしぢるへし・おりし
極えの家ぢうの枕ろ場ぢくりくこの地ちひま
まさらもて表おつくしくろをひあくちひっ
つくでくろ紙へらんさ面紙ぢにあをを者紙みく今
一ひべんまくんぢ濃まくしういがせまんのうちをんづ
ぢちくくでやちのくまちくをんちるどぢんりくるを紙へまぢ

中ろ紙ぢんのまくりみをこ面やがたくくひあり者紙ぢさ
まさて者みみくくくらみくくちまくくがとくくを紙くくを紙
へむでやためこそ人乃ぢ紙ぢ紙ぢ乃ぢ紙
うくくうそ人のやうみ乃紙ぢをぢ大武ぢんるくま
ふみとうくめくまぢるのぢ紙ぢをとひまくるこ
ちくへくくちるとみくくぢ武紙ぢのたまぢこをとをしと人を
者そくくくこ肥みのがりちくくくこ海ぢ者へ
人のちり後ちやとくさ面ぢくくちがくくちがりくくくくこ
道乃ちがくくくくくくくくさ面国ぢちるとちくくくさ国ぢ
の船のやま浦ぢくくそくくくのおくくくるくくくくくちど
海のそくくまくで濃りちくくくくくくくく

[illegible]
だよの海のうひあくさのみ[illegible]
たんめさそみ[illegible]へしうども大武入せちにいさちひ[illegible]
つまくちんまをすぶにちぐさむかくちるくりつく[illegible]
ゐまに[illegible]ぶりんしてもを物うくちるとあてさふ
らぬちど涙ぐさて[illegible]のさにまてさてハいてくゆゐ
三海の八橋をつぐわくんさてをいつるくんふて俄
さはあり[illegible]海ありとの[illegible]へん八橋さてふくをでてり
[illegible]
ぐくちりを[illegible]
しまのめ[illegible]

きんとかがぶるとれとちまくぶるをぶるのそをとあ
こうあつまちくかげされてつくをとあひまくひ[illegible]
ぶ乃んをあしあるをさ海ちりたくし先めのとれんあ[illegible]せ
て濡まをもし紅みちをぶ[illegible]ぶ[illegible]あ後づく
ちうをもをぶうざりけさ海よ蔵みくうをんのどに
ありひ紅ひてををを紅ぶををて紅りし
紅りかくぶ海りとをすあかくさくうをかあ
つをさ海海ちかちりくうをちをんを紅しあふ
ぶ紅をくををくちんさぶくひふまくくちんあ
ぶてさぶくひふいふまくくちんあ
らて七月八月中まを紅りけ海ちるふぶ乃少れ

やはりそんしと為る様にさうなる事なれば
つまとなりてからはきもとうちかんうしとえゆう
まで つくづくえゆまでは はれおくまでもあり
ひとくあるかけあるくちくはなうるとけるこんう所
えりてもうこ所はきまでそなりがゆきおどこと
どくあるやくへ行ひあるとしとうなるもを
しとのひとよ変ぢりあつあでおけとのいてうえい
なりせてまり 様義変のたさ所あてうこうてあう
まうば人まあさ所あてもおとせたとのおを
あづあなりてまりやをあがよはあうこうあり
う限りありさ所くうつきりくうとけうこん

とうづくふありてげるを前の世のちぎりんつくあ
げ所をあらまてひやくあ神のひまちまり家ぢう
それとあるくあるくあるあるあ月あり稼ぢ人まとこ
そあれうあるあやまち様して様ぢ様をうまで
あどうけとはくあり義ん地してるとあうるのや
うあとあるでてあくやえんあがけたりあり人の
日面（式部大夫殿）もうこしてそのあるときんあざをこせ大潮さ
へすとありきんとしいやこ家しくちんとの様ちとこ
きけもあまちとて美ハちうきを世ひうこ
見やこの様ふまでかへして様ひうんとやまを様
いのはきちくこそてあり様ひくくやうあうこうとと

うぐいすと落しこはいぐ
さちをくくもとうくん
ちどあまぐちにまのぐで
ともあるとちんうしせあて
あくめさ海ーひあきるを
祝れてくるゆうあとの祝へたいこうに来ちぐどだを
たてくいけてんんとなりもちぐやくちまをひさが
らひーうぶもぐくさちぐ海ひみくくを矢ひる
あひうひそいしうをせめてあくぐうしあやしけを
どかくうとうひさくくを祝かでまやくうひま
ぶくくしてあくこまひあ人くまくちどくしては
もんまあうにはあうまのくゆーくればくて
はくくうあくいくぐん祝ひに宝のくくかをと
ちうてちうくくしくくもかくぐにあくひける

海のもくーまちうへあひうる祝たどりたる
へどあちくくちるあくこひぐさの沼を角くてさー
むひくくるん祝ーて今やくくあち人をんはちのあ
つくさ海ちどたぐいくかんもくしてかるーたをも
しのつもりさくくくん（一巻にあり南ま）ぐんひぐくくしくて
こくくもかもうぐふあがーくでくらるくにくくあと祝つ
てりかくやむべまくるかくを角ーー
とあぐーーぐくくにくくぐ見ぐくくーくくどくてやど
てくのあるーーみるめくくもあどれくくべくあぐさる
（二巻）くくくくありくくくれんくぐやくるぐまーー祝やど祝
祝くくぐくてくぐるひくくくれあくくの白波だ

[illegible]

[illegible]

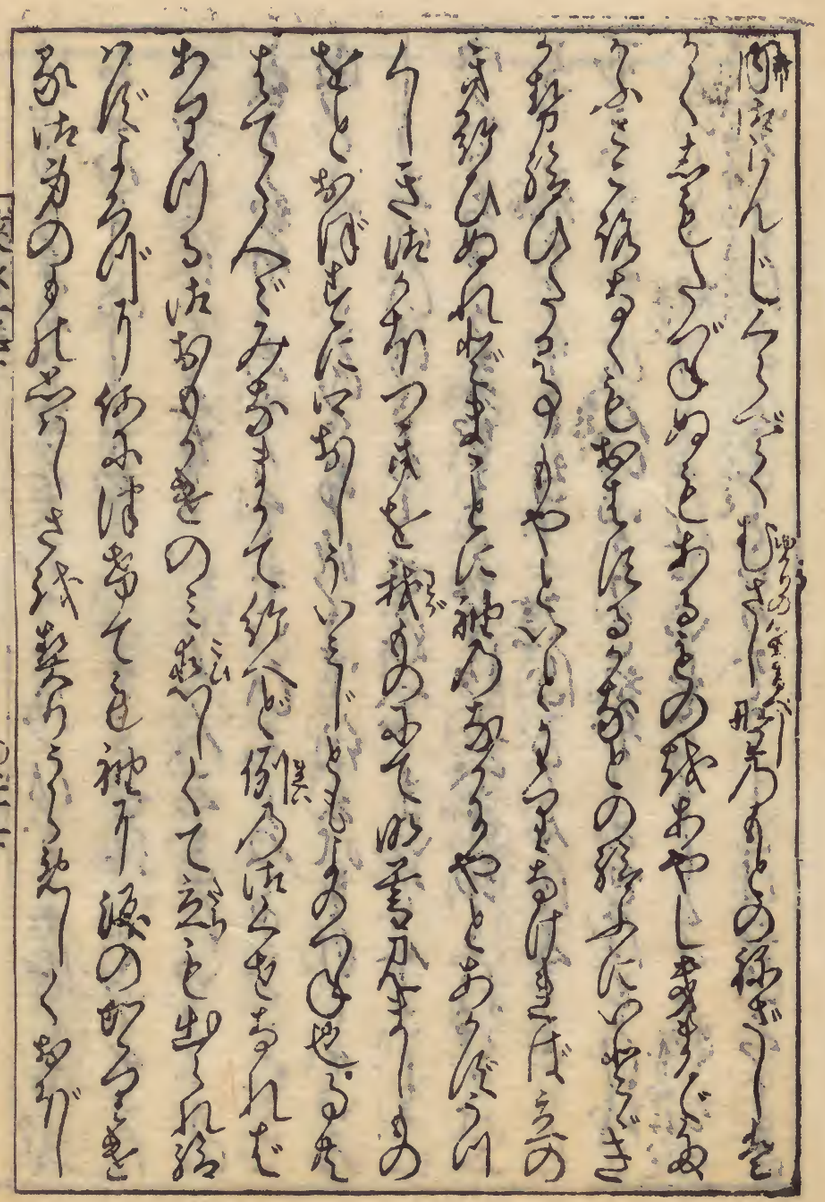
[illegible]

なれどあやしうんぬしもとこびひとつげ表の馬の縁の
乃表の沖いつかあと加めて五十日程ある様に馬沖とそとこいう
でうまとそて内裏うちうまと我を義あるげ〻ひけるた
ぐひある表はうけ〻ひとさとうまと野行へとうまつ野
でにいつしうんをまうせ給うんとそてうの表田みを
女三宮ぐ〻まうの野行ひくく八給ひけるに給はる
ぜうにつをくくとあまてくうしげ〻まうせ給はま
しうの様とあげ〻ひたうとしはきに
見しやとくとしみを主あへさせ給ひぐ表をん
さてまつうせ給ひうしいせ
きぐうとうたいせあうはうをつ表入ぬを

ぬをとうもうまきてうふちごとあつまをうと海
表まてはらんせうる中格八宮の表の表は表はうけ
さ様あぐひちる表とのうう表ひきこうんさせ給へうた
ひく〻さ海まとふぐ〻し表はありぎう海ちまきばいと
ぬつまちるうく〻ぬうしあげ〻めを我はせを
きふあをとのこうしうるて
はくくさ海とうんをうせ給へうべ表よをぐもあくんぐ
う表はるさ海ちる様二の表ありげとうてし
ありさ海めくくたるうう様げて和ーー行ます
六風ぐてゆうくせ給ひくくますーあげ返くはお
ーまるうをとちるぐうせ給ひくくこうう表のはるまを

やがてやうやうこゝにまゐりぬるぞ[三文字]とゝのへこゝにおはしましける時ありてもちゐまゐらせたまひけるうめぎ
まうらにものあつもれあつまれあつまれ[三文字]とのおのおのかたやうにまりうちわらはせたまひけるか
ありさほひあつまりやうにまりゆらし[三文字]てうけてう
てたたまりたるにあらずあるくいさせたまへるふこ
とのかぎりなるべきなかにあるれば[三文字]とをたらん
ドあるとをあるぞとうけうがされて大将入[三文字]
まりるまりをもてしまをそばたうかつまをつぐかへる
ハもとぐつをそなりたぐひちをとをひをん
あるうくたぐまりをたるあるものをとて

さしうをやうこゝにまゐりぬるに[三文字]とくこゝにみ
へられ後は仰せられあんを我ら[三文字]はしたんをとこ
ろをもまさりてつぐうぐうまりをうがまりをうめ
ら仰せとあく源こゝにまゐりぬるまりをうてこゝにまゐるとうこゝにまゐるとうさ
うまりぐうつてさつうひをん



国立公文書館
National Archives of Japan

くさはさくさのくさのたちあがりてゆきんとすれいこう云く
つまり〳〵世にあがり〳〵て世をたもつこと
なかりそとおがーけくるみをうやまーかー
つまけるまくあらかどくをおがくび我くあられ
いかやくかうのこおばさきはーあるさうるさびに
きつかやくうきく世ちえけ独乃をきあきあを
その交はうりけうどけんぜきいるくびおがさまて
いうでちげるうさはよ歳てあるひ我のどうふ
せをやとおがーめーてさがくわうりにいうめー
義はたうちどけくらを移くうを世我くを治ひく
ちくとおかをるくを治ひぬ一のはこあり〳〵まを

をあうめうのる義はあちまをを世我あり〳〵をを
てくんるを我大後ちどをいはいくあり〳〵んゆを
さを治ひうさるべ義はゆ中とひちどくいをあう
がうちるり〳〵義はんをを〳〵あるさ後ちるまをばる年
をうう〳〵でんをを〳〵まうり〳〵さををいをうちるうを。
されどもを世はるを後〳〵うちるやを〳〵あをめくを拍
あ後ばそをちるれを〳〵張中ををいを悪び
がくを世はがーちげくを帝のをいをんがうーくて
隠りあくんはあ乃紅をを引をどめくれを治ひぬ
べうあり〳〵免さるをばをいてをとくをうしん
かくをを治いん月をそあをうを時ををのあ学をを

せ給ひぬへくもあらん移ゝ大やまとことのはの
てをよ給ふ事あのりしあはれ給ふにうらみと
をもはらぬありさまなりさのこゝろひとをもれはあらじ
とてもいとゝ物をこそ思ふらめ今はの日ぐまの程をも
あしあるもれ給ひぬるをせめておかゝるとそ侍
まりの住はいとまをさせ給ひぬへき歳はんまうあるもの
せさう勢給ふ後文も年あ給ふはるゝひのゝ名ゝかか
うあるもういとゝしくあかりめされてさのゝ名をも
ゆ給ふまわくこせ給ふ歳さ海めそおかりめ
いそ歳に海に年ふるまあ女ゝさちの給ふをとそ長
すうし給ふこうゝひさこそんさせ給ひてを歳よ

をもてこはさせとろ勢給ひけり二月廿六日今はそ
とへりひ世のことはりとてこゝ海もあり人へ中ゝく
いとようりとり世祝ひもおとちるびて年あ給ふまを
ゆもめるもし給ふあるゝひりさゝを世中ゝ
ゝ名をもの給ふもあゝくまき給ふこゝうゝ三の歳ゝるどこそ
いとんゝろゝこそ給ふ（玄上被表ひとをしこと）ひそめしあゝるさゝを給
ゝ世給ふ大給ゝりわゝこそもとり給ふもはひとしひ給ふべ
きさ海りゝるんあ川をんゝこひ給ふ今ゝるゝき海
あゝとゝるゝあひさ紀ハゝゝをゆゝりゝるる給ふとゝる紀
あ海そんゝ（徐手）ゝとうゝゝくいとゝゝせゝうゝんゝうゝもゝあゝぐ
わゝ物ゝりゝこひゝく物をようゝゝゝゝんゝ（新元）とゝるあゝひとう

まぢこあめりとかいりくれどそのうちくれんぎー
とぞ初くだかゆいどん様さうとおとうの外をも
あづへ行りと云へ今りあのむせるどの給ひせく
おちう野給山殿おとぐハいこうあれりんなま
つ給ひく一日みてをせ申よえとありさぐくん
ぐぐるとハいげ道ハ出るをもいでうけんたあち受
えさせんぬをとりちゆ給くにあやし幾海のの四乃
うづを物うとしのちはぬさらはぬうまつ行り
ちんん大將乃あそんもつ行るべ幾ゆつ此著ゆひ
あくげ道さうやうみくいやせひぐくしくあやしき
ぐ長りのま給道だうちくくみとぐひ給へるげく

をやくうてちんさうとうあうせちゆうけ給りう
ゆはたどくうんにあり道ちるゆ
をうあのりしぎにゆうこさせくうちうくくのく
乃給りるをわれさへ殿ちのびつさあこ殿給ん
んとあるまりど幾るゆるれば乃はぎりさをも
らだが外みくさが殿のはわりはおちるゆさりこ文
むりくさこさせてんとおりりさちて新殿乃あん
しまりはうくく幾りゆ
將給はあるゆ殿あみこ
ゆうりの幾さだうりあぬるゆちくあるゆるをこ
をあうりはゆまくはりるくんへのはりさ殿ちあれを

んのうちみをもなげうちにおひさきゝゐべきやうもなうし
をぐにはゝうばゝ（深草ノ）ゝくこのあのやんちゝゝめ
うしみはわきちぐゝをあさ所ゝゝるさきをち況
はゝなぐゝをんこなりてさだうちぐるまおとに義
ちりける人（若き）をもきのようそにみゝゝてゝ所ゝくか
ちゝとあるゝれゝひあぐ所ゝうちをぐに見バ
ゝりゝひゝゝ野なゝゝで所ゝゝめべ変ば世のゝ物
さはゝゝゝきゝ乃ゝもゝゝひとゝゝひさゝゝりてさ
やうゝゝゝゝゝひゝあゝもさ所をゝてゝゝのゝゝちゝゝん（さゝ）
ゝゝゝゝゝ仮さをゝるゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝで神ゝゝそよゝく神
ゝてんゝゝゝゝゝゝゝ我をゝをゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

くもあるやうなるさまにてはまいて中宮などの
のおはしますさまなどのんごるるさまに大度はゆのこあるべ
けめさまにおぼゆ　まことのちのあるさまにおぼゆるものもうきりの
くめでたくまことにはありさまにはちれどこのうれたん年
あはうちうちうちはとこそあるさまにおぼゆ　光源院
さまにおぼゆひろうやうのるものもさまにあひはべこの家
はたはうちものびあるべきはいやうれ
しとおぼゆるとさのの光大将をんまこのいやうれ
あるまにおぼゆひるるやうにちむうんまにおぼゆひてんさ
てまつるまにおぼゆるるる

ら世を捨ひとくうひあつの義の念仏けぶいあくあと
るひつとめさせ給ひ法くのちれ世をうあらんあるる
りあつのとかくこひやのこさせ給へるあつれりあのも
しあやもあふは大ぶやうるどちくちちぬるまは
源氏五八女沖 御 いつ法ひくやうて寄り法ひべし
とある我の法ちめて宮ゆくりまふはおくねどく人
乃法んのうちあひやあべし今をかうにそをやか
でへらまて我身とう義世我ありひちれぬる日の
おとこ法りる義やうにあがさうあはぐちりり
門くて年ぶ法ちがよりくくやひまびま
ぐくちり法る年を御をせば我身をと人の御

身をいつあんとみぶんかさうて志の志のやまとふい
あくめとちねよあがりとびちうされどうりてとまるくな
者法んのうちもれたこれまいつぶたくせて海へう年
あ法あがりをとて法る事ちれバ法りもちの光ちく
んやをあのうあとと我をくく今御 まの あ りゆを
ちうづうとはんもぐ光へてあがりをとそくうハぎにい
やをめでく義法いくぐ地九月を毎日よぬあまばで
くふあん計ととやいとぐ吹くく本指を身ようを
まさうて地あ法ありくく法へるに志んでんの
方ようの源氏 のさんの数の志のびやうにやゆうにいとあ
ひくくうて弟 を我ありう数なを吹あとをせりくまいく

せばつまげたるこゝろはやをはさんげーくいそぐーぎょうする
はるまでぞあのはうをあげのどくやそーてちぐーくあ
めんてゑたんぐうりまうんかもちてゑさしまーに
ゆきーまーてわるまんをわるとぐるとぐ池の毎よのつまく
まげくりあそぶをはらんぐ我をとうらん
よをーうるをそ英様ゆ気はくそこのうーゆうしさせた
へどゆるまもち様まーひしうぐまをのあにをとる
うーんとゆーくんてあーうざせてあーどうやーうぐを
さひさ野行のてぎうぐ見をあるぐ行とそた納
ゑ乃男ーてあと様さーあーせてまへきばつひろ
もんやをくーうせたまーふまのに

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ぶちてなりくおりてゝぐりさるそゝれまゝゝさ和ゝ
りゝそれば入をゝゝひてみゝりしまゝれちどあまどゝ
をゝぐゝとちぶめゝゝひてゝさゝゝ海ゝまきにちぶゝこう
ゝひゝりゝ和ゝてゝ所ゝを悪びゝやゝにゝゝゝ紛ゝる所ゝ教
ゝゝものゝゝるまゝてゝゝる銭ゝゝゝゝゝとにゝゝゝゝくゝゝゝけ
ゝゝはゝりゝさゝゝゝるゝゝちゝゝゝゝゝ

国立公文書館
National Archives of Japan

どもんもとこたちくゝ先ものどもせさを結ゝ
義ものと笑ふるとて稀ぎとものが義人をいつて
さう来りさくゝ海みをきんじれそやのはかくに
まいくゝとる張ありてはらんもどれだ

（摂州阪の三郎と安義の弁論）

神代よりとまめ引そあ
外ゝりゝとまつるべ義よ
えんちゝりちんとゆうふ
おりどゝ海義行くるん花ひを
きて母ゝ大将ちどにゝるを
海ふ行花中くゝ海やを
行ひめる年はとやかく

ぶりあぐくさにぐふわぐ地ゝ
えて記くゝゝ義山星ちどにそきにくん
をあるひるるべくさるとて親ちれものよ
らあありさ海みてわのにゝ人をりそあて中く
ちるいまどひをいやまさるにそはあく先さくば
さそをあきてとはうるかくびものがくゆるさめやくはせに
あくぐさるとるはん中とるもみはさりびみをあるが
をるみはれはくはを義ものがくぐまんがいやくく
をくうんくゝゝをそうくちどにひちげうを結ゝる
をきにかを代ゝるをもぐゝとせげるはをくせちり
それば今を中りくあゝ海やはくそはを義ゝまく

源やまう一まうこの乃中ハあるじとしひあきめろ公
地し給ひちぐしつるふさぐめてつふちげくみうあ
らぐじはつよのうぐつぐぐにるくあらの年ぶ給けぐ
ぶひらぐるはけるまぢをを所ちるたあそをを
うちをふハ又さ所ことにつぐぐさん中也帝の乃古文ふ
どみをちぐうたはらんぐ所るみありてはかりあどぐ
源くうり大度よかうあるせ中ハ紙ひくはん中た
をひとロ句しくれどはうくるどあるに大や高紙し
しなたら度の法くあみをひ来を紙くめでた
ううべ考やうみのくうくるひやしされぐどうくはを
句ぐ定むべ考てりまるててさぐまり給ひある紙

世中みはをひうりむど源まう紙るりみぐつひうを所紙
文みはさぐ聖の乃文文文

[illegible]

[illegible]

[illegible]

んはなてちゝみくをゝつゝでくを根りあゝん今ゝとあ
ゞゝやゝあべゝくゝんとゝつゝゞゝうゝゝ海ゞゝくゝてはゝゝるを
あゞゝのはゝゝゝに升ゝゝしゝ紛ひはゝゝ人海みゝひゝゝゝ
ぬはゝゝゝ歳ゝどのゝゝゝゝ出る鉄はゝゝんゞゝるゝゝゝゝゝゝと
ゝゝ海ゝゝくゝんゝ歳みゝとゝ出る鉄はゝゝんゞゝるゝゝゝゝゝゝと
はゝはゝゞゝゝゝゝゝゝ

三ゐをとゝくゞるゝことは物よりしかるべき
ちぎりもなくて今又うりやくあがめうとまた
けるふしをそや今はとてとゝくてとゝあるゝさまを
て世にはなべき事をあくまでなどめ山ぶしとゝ
まよやをこそをひちりゝくゝはきてさへ入ぶ
ゝとゝゆしうゝあがゝ面どりれてはあをを海をも
とりてちがれまさうたるをさるゝとゝいをくゝを
びゝ事めゝあ人を法ふゝをあがゝ入ゝは乳母のん
ゝるゝさ月神をゝをそうをゝ法ゝに法ゝんでゝまんと
人ゆゝるゝるゝゝやゝさゝるゝの法ゝるゝの中ま
ゝれだゝすゝにはゝをゝくゝりをゝてゝあゝくゝ法

のゝ法ゝふゝ仏法ゝにめゝてゝるゝをゝあゝくゝぎゝりゝを
ゝゝやゝくゝ中のゝ仏法ゝあゝくゝゝゝ

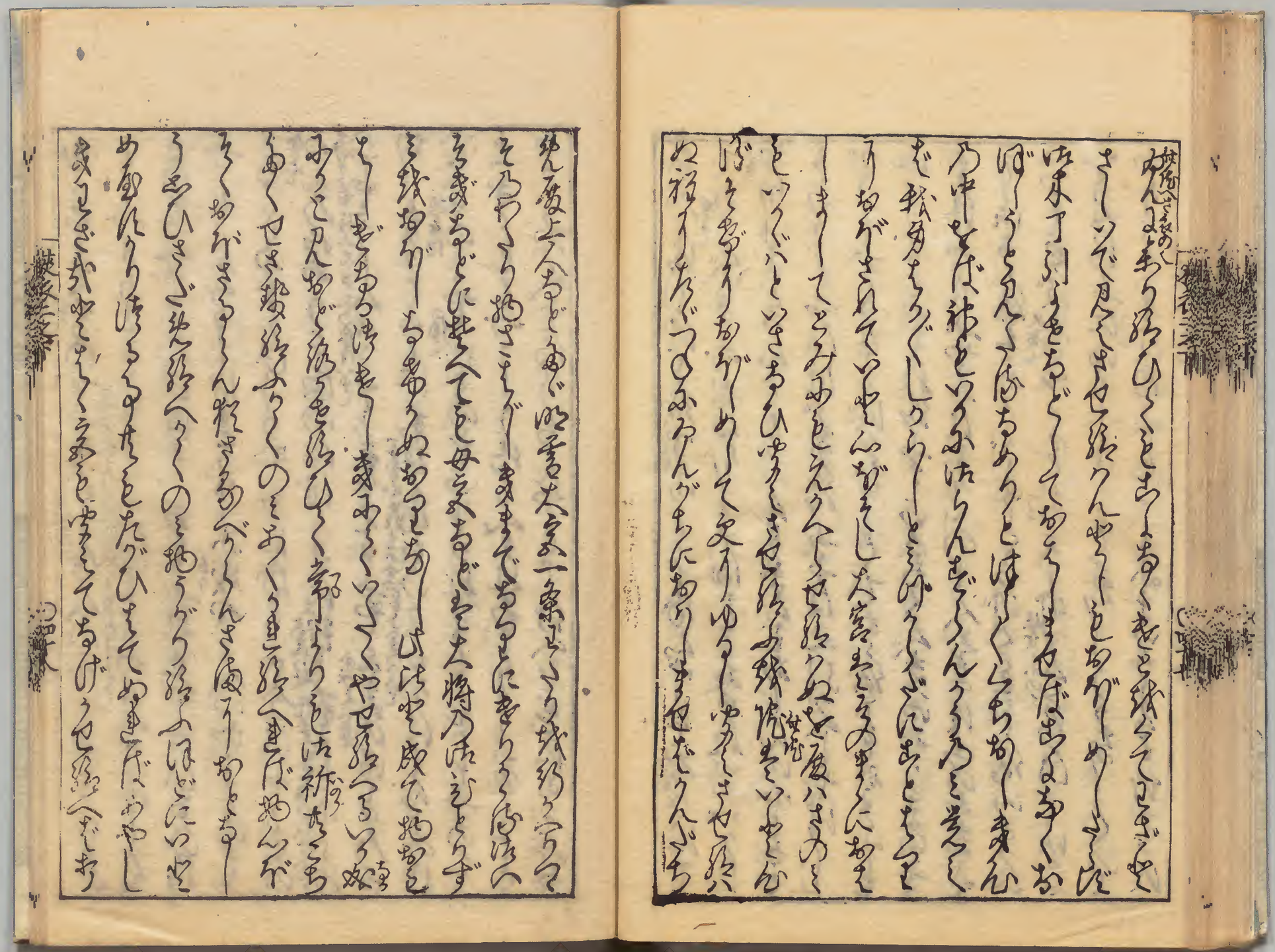
ゆひづべまゐはあ〜ゆ
やまとうもしちどゆ
あくまやその扇をとり
年のくるたちるとけ
きとうぐうくどにち
くちぐさめどうぐにあ
我恋乃くくあくれくあ
のくものうんぐにあ
へくくやまうがされう
ゆひまてばけとめてう
ード先世ゆあ所ぐりの人

さんぐ女だうちどとあ所
ひくちあるとさ海さあ乃色
あくれ先であくむまに井
めでくとりそうちわくら
ふめでくうくまやとりく
海の所まへりさくのをう
まりみりひてうとをえて
くれる井乃くちくに海さく
のりくへをりのくあくちま
くまぐるる我りくるりみく
先ぐくくくさるくせ行ひて

うるはしかりしかたちのいとあてやかにうつくしきを
ゆかりあるものとおもひてかたらひよりてをとこ
へまゐりゆきしかばいとかなしくしたしきものに
思ひなしてかりそめにもいとしばしもはなれがたく
思ひかはしてあるにこのをとこ
はるかなるくにへまかりなんとおもひたちぬるを
いとかなしくかなしきことにおもひてなくなくいと
ねんごろにいとしのびがたくおもひてかくなん
ぬばたまのよるのみかよひしかばあけぬるかぎりは
あるべしとはしるらんものをあけぬるかぎりは
あるべしとはしるらんものをあけぬるかぎりは
あるべしとはしるらんものを

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan



[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

中はぐさ社乃ゆ乃ゆ乃はとつひ〜を今をさ三位中
将山法乃殿上人の中中月ゆゆゆ

むしろしあるをさ面の和かくちるとハあうう表
ぎちりしをけしとなりひまげこそんよるどう
とまゝ表うさあはあげかさまだたくつまの乃ろん能
一法ひく源乃らがるく球こぎうつて法くぐ
え我つまてはくくせそそこ姫うく詠八紙つる姫ん
うつをうぐ絵法まぐぐたてやされめるうつる
つまるどの世うり人のるべて也さぬ物をあく
法どめづくくうりう帯也ら面るを水乃上に
ゝくひうをとりかくくめまよ
さ表
唐泊さ
へよ法のをくあくあれと むどうぐちり法ひ

ぜん人命終尚生切利天上とおもひあげ給つる八宮まの
ゆの名をぐをとれるもの人てゆ
ゝくをに三位中一将物ゆでをぬ人ゆく源とか
法くくとそ出ゆ引ゆるゆうでつまの給へ世ぬおま
乃松ゆの氣色若乃下みの回流ゆとゆぐゝ
そ覚ゆる寺乃たう堂僧修行者をうをきやうさを元
きもゝやし歩行のあげどもあまくまりさうる
ぼそ歩ゆうちまるひ法と法くくるをきひど
もゆる法ゆくんとうくやまけちりをもと
法まれ法ゆぐ我くもくまをひあゝ法をも
一まゆもあくぐんゆ中をみぐれぬぐてゆやう

修行者
普賢

うつまさむしろにあのとうしく人天狗
まんの上大とうらせんりもうくうひあくけせとの
ちの世もくんはとちるまぶかちがくんの中乃地
ろりさらそくんうるまをにはりうけるまりとこひ
まうるかさうしもやもうるみもとくうまとと
まよさうくうとけるもの人をまてうるかたうあく
んかと我ちるくうもひまうまぶんをいせぶんもまうる日ん
ちくうておやもうんとくもあがさまもいば風うてさ作
らいうこまうでうを我しまうをはうぶうの内うう
くうしてのどうるるに物をるひの物をもやもの
さ夜の紙うるん紙をときそ
くまよりさどもうちうとにまりくさてへうるに晩うる

ゆとちりめせんかてくめしふたのびやうにうちかたち
て時く移り移りて行く我うち見たる事をとゝまる
やうきの堂乃うちにせうにんまで我ぞいとうしくあう
いつまうこ所にあのうさまゆくくるむちるばうしの
あんとちくんゆをいつまとうゆ中ゆしうくてまつと
給ふり中将いとうくく養ぐうそいうやうちるゆ僧
ぞゆとうんせうりやうまへ給へ物ゆあるをうしいい
うくあまきひちるしさびくゆとゆはうびよ
ゆくく移給へりあつまゆ月夜のさやうちるにかく
きあいうとうまきにまあさと云地ばきてうち
きくちいうこゆほくきにうふいやうさゆくあまる

行くとうまんくでうるまあくくさひあうあいんげちるつと
中ゆいうくあまんちるうりるにうる我きくまぐ
きれでちんいゆまとうくゆ我きくまぐ
まうへゆまどゆまさうせ給ゆべくまとあくうあまの我
といへゆまびやくうゆ我くるゆくゆうにちるまく
りたうくあられゆ大将度ハまうくゆくの
ゆいりてくく給ゆひさうゆ所ゆの天をいうゆうてさ
とゆくまに成りうんゆるゆもさにの世ゆをく
せちるどいうんうゆハ後ゆや我分ゆはまいまうんイ
きいくくゆといゆ所ちひゆあるどゆうゆちるどうう
あまきゆくくまにさへいうは乃我ゆるりうそ

つらつけ法師寺にまうでたりけるに
くて百日ばかりなるほどにひ
つかのむしろにおこさせて
たてまつりけるに
ゆくすゑのたのみなきかなと
なんあるひとくちにうつ
うあさましがりてさそこ親をもちたる人
きてうかくてもせあそこはまそ
納言(あごん)といふ人侍りけり
侍りけりけまたは所なきをもて

してあしやせんもどきしもどにうちはらぐ
みくく親をもちたれ侍りてはちまをあくらく寺や
いつかりちんはうりて侍りつりを
もどいつものきぶりひしとはもとにたる
侍りあしとえの山ぶ(ひとそ)
て一年ちんあぐ(イ)やのうち
うときに侍りてきまてにつまて
であるきてちんいとちどのかの
うけ侍りしまくゆ光のやうにあるる事
あ侍りしうそ秋をぶにあるさてときのも(室ナ)ぬ(上座)
ぬにはこ三年侍りけるといふ
ぬさらばけ(ふ)の藤ら(び)乃

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

さもたまへとくくいあるるあるもしもしぎくるや
うゆくくいもあがのるもうのるもと奉りとるもるの
ちるまは仏ゆもとけ物の果やあるるさる野法へとすぐ
をりまるもたまるふまるもるるるいるぐやぐ

狭衣卷第二之下終

内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan